

新田 勝見 議員

# 地域おこし協力隊に期待するものは

市長 楽しい生活から、人を呼び込む

**市長** 地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売を行いながら、農林水産業への地域住民支援などの地域協力活動を行い、その地域への定住・定着を図る取り組みである。今までの任用実績は39名であり、現在活動中の隊員は11名である。市における隊員の役割は何か。

**市長** ホップ、わさび、ワインの振興や観光振興、文化の発信など特性を合わせたプロジェクトごとに募集をしている。令和5年度は18名の応募の中から6名採用している。

**市長** 山地酪農を目指して2名が採用された。遠野には牧野など利用されていないところもある。この3年の間でぜひ成功してほしいと思うが、市民の支援はどうあればよいか。

**市長** 地域とマッチすることが定住へとつながるので、地域の方々と

と付き合ひ、溶け込めるか、楽しい暮らしができるか、一生懸命支援することが大切である。と考える。

**市長** 国では令和8年には1万人の協力隊にしたいと考えている。遠野市として、その地域おこし協力隊に何を期待しているのか。

**市長** 希望を持って、遠野に来てもらい、自分の夢についてチャレンジしてほしい。遠野はそのようなフィールドであるというところを実感して発信していただきたいと思う。そして、地域の方々、プロジェクトごとに関係ある方々と本当に付き合いをして、新田議員が大切にしているし踊りや神楽のような郷土芸能も含め、楽しい生活をしてほしい。そうすることで必ず次から次へと人を呼び込むことが出来る。



厳しい冬に備え、準備を進める隊員

### 解説

**山地酪農**  
山林で牛を年中昼夜放牧する。  
牛は自然に生える野草シバを食べ、冬場はサイレージを食べる。  
濃厚飼料は、おやつ程度に与えるだけでほとんど食べさせない。

### プロジェクト

特定の目的を達成するためや、新しい事業、業務などを成功させるために行う用後

### フィールド

分野、領域

# コロナ後遺症、ワクチン後遺症の体調不良のケアが必要

市長 市民の健康アップを図っていく

## 新型コロナワクチン

### 予防接種健康被害救済制度

◆申請数	9,789件	(令和5年12月27日公表)
認定数	5,735件	
◆「死亡」申請数	1,094件	(令和5年12月25日公表)
うち審査未了	604件	
認定数	420件	

### 日本におけるコロナワクチン接種後の

### 副反応疑い報告 (令和5年7月30日時点)

◆報告数	37,000人超
うち重篤	約9,000人

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査資料および厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より

**市長** コロナの関係でなく、免疫力の向上を含め、常に健康づくりの取り組みは大事である。市だけでなく各市区で多様に取り組んでいる。他の自治体の取り組みにとらわれず、市民の健康アップを図っていく。

**市長** 力上げるための健康づくりにも同様に取り組んでいる。内容は、アロマセラピー、ヨガ、鍼灸などの施術と生活改善アドバイスで、医師や民間の協力を得て取り組み実証をあげているが、当市でも必要では。

## 市民サービス提供のため職員数などの課題は

**市長** 市職員採用応募の状況は。

**市長** 応募者が少なくなっている。合格後に辞退されるなど人気がなく悩ましい。

**市長** 今後の市民サービス提供への職員数の課題は。

**市長** 明らかに人が足りない。世代構成に多い少ないはあるが、それは課題ではない。より良いサービスの提供のため、職員も非正規職員も高い意識で職務に臨んで頂きたい。

**市長** 定年延長に伴う職員の配置のあり方は。

**市長** 令和5年度から段階的に65歳まで引き上げるに伴い、60歳の役職定年によるフルタイム勤務、定年前再任用制度による短時間勤務、高齢者部分休などを利用した柔軟な働き方など、多様な選択ができるように整備した。職員生活において培った専門的な知見など技術、経験などを十分に生かせるような人事配置をおこなう。

### 解説

### 定年延長とは

令和4年度まで60歳だった公務員の定年年齢は令和5年度から2年に1歳ずつ段階的に引き上げられ、令和13年度以降は65歳となります。ただし、60歳を超えた職員の給料月額が7割水準に設定され、固定給となります。